

LIONS

2021
10・11・12
No.995

2021 MARUGAME LIONS CLUB

国際会長テーマ

We serve

国際会長メッセージ

Service from the Heart

ライオンズクラブ国際協会 会長 ダグラス X. アレキサンダー

336A地区
ガバナースローガン

命燃やして恋せよライオンズに

336A地区
キーワード

Overcome

336A地区ガバナー 蔵本 守雄

丸亀ライオンズクラブ
キーワード

笑う門には We serve!

丸亀ライオンズクラブ
スローガン

「Together!」

丸亀ライオンズクラブ会長 岩井 勝英



2021 MARUGAME LIONS CLUB

10月から12月の会員慶祝 誕生祝い

◆10月誕生月

L塩入 秀樹
L徳永 豊
L藤本 忠明

◆11月誕生月

L田川 恵富
L呑田 壽夫
L大庭 正道
L加藤 誠
L多田 篤史
L増田 定
L岡本 博道
L糸 達也
L藤田 洋子
L三宅 公義

◆12月誕生月

L石井 研也
L内田 裕二
L角野 恵太
L今田 哲也
L白井 大資
L高橋 順子



表彰

◆LCIFキャンペーン100アワード

L近澤 亨 L松浦 孝仁

◆出席100%アワード

L近澤 亨

◆マイルストーン・シャブロン賞(在籍5年から以後5年毎表彰)

10年… L藤岡 勇
15年… L古竹 亨
20年… L近澤 亨 L松浦 孝仁
30年… L亀山伊佐雄
55年… L鈴木 巖

◆MJF1000\$献金(メルビン・ジョーンズ・フェローシップ)

L秋山 景子 L岩井 勝英 L小川 愉美
L谷澤 友紀 L豊島 義則 L松浦 孝仁

◆公益財団法人日本骨髄バンク表彰

受賞(株)紙工芸やまだ 代表取締役 L山田 時達

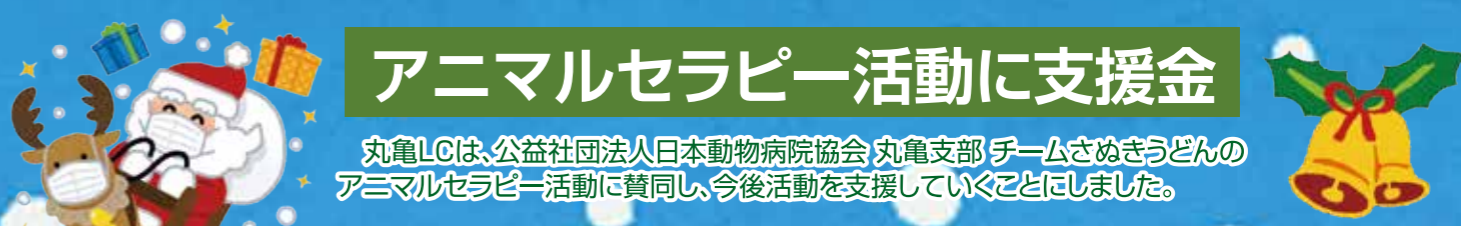


目次

アニマルセラピー活動	1	少年少女バレーボール大会・ 献血・骨髄バンク登録者活動	5
新会員スピーチ L内田裕三	2	例会行事	6
新会員スピーチ L多田篤史	3	待ちに待った忘年例会	7
土器川河川敷清掃・少年軟式野球大会	4	丸亀ライオンズクラブ創立65周年特集 「温故知新」vol.2 第1部	8

アニマルセラピー活動に支援金

丸亀LCは、公益社団法人日本動物病院協会 丸亀支部 チームさめきうどんの
アニマルセラピー活動に賛同し、今後活動を支援していくことにしました。



【人と動物とのふれあい活動とは】

人と動物のふれあい活動(CAPP)とは、高齢者施設、病院、学校などを訪問し動物の温もりや優しさにふれていただくボランティア活動で、広義のアニマルセラピー活動といわれ全国の動物病院協会の会員動物病院とボランティア(ペットの飼い主)が力を合わせて推進しています。
*CAPPとはCompanion Animal Partnership Program の略称です。

【活動の目的】

動物とふれあうことによる情緒安定、レクリエーション、QOLの向上等を目的とした動物介在活動です。
*QOLとはQuality of life の略称です。

【新型コロナの感染対策】

チームさめきうどんは、コロナ禍の対応として動物やボランティアとの直接の接触を避けて窓越しやオンラインでの触れ合いを実施する等の工夫をして活動を継続されていたとのことでした。
*医学的な知識と工夫を行ったうえで活動を継続されたことに敬意を表します。

活動視察

岩井会長、谷澤幹事、山内環境保全等委員長の3名が代表して、アニマルセラピー活動を視察しました。

日時: 12月15日

場所: 特別養護老人ホーム 青の山荘

【支援金贈呈】

チームさめきうどん代表 大林杏子様に岩井会長より支援金を贈呈しました。

なおL小川愉美もチームの一員として積極的に奉仕活動をされています。





新 会 員 ス ピ ー チ

L 内 田 裕 二



みなさんこんばんは。

四国電力 中讃営業所の内田裕二と申します。

私は1967(昭和42)年に旧の仲南町(現在のまんのう町)に生まれ、現在53歳です。

丸亀市には25年前に都会にあこがれて出てきてからですので、もう生きてきた約半分は丸亀での生活を送っております。丸亀の居住となってからも勤務は高松や観音寺がほとんどで、やっとこの今年から丸亀の営業所に配属となりました。

趣味はスポーツ観戦で、特にサッカーが好きでカマタマーレの試合も時々見に行っております。ただ、サポーター席に行くと声を上げて応援するのはなく、メインスタンドの2階の上段からフィールド全体を見渡しながら解説者のように見るのが好きというちょっと変わった観戦をしております。

1967年生まれの有名人といえば、たくさんいらっしゃいますが、私はその中でもカズ(三浦知良)の大ファンです。2月生まれですので学年は一つ上となりますが、同世代ということで応援しております。カマタマがJ2の時には何度かピカラスタジアムにも来てましたので姿を拝みに行っておりました。そういう意味でもカマタマにはぜひともJ2に復帰してもらいたいのですが、現在の状況ではとても叶いそうにありません。

そんな私ですが、もともと20才のころはサッカーというスポーツに全く興味がなくテレビで見ることもほとんどなかったのですが、ある日、テレビをつけたまま寝てしまっていて、夜中に目が覚めると、日本代表の海外での試合がライブ放送されておりました。いつもならそのまま寝てしまおうところなんですが、なぜか眠りに入らずそのまま試合を眺めていると、だんだんとのめりこんでしまい、一つ一つのプレーに手に汗握りながら興奮している自分がおりました。その中で、やはりとびぬけた存在だったのがご存じのカズだったのですが、それからはもうサッカーにのめりこんでしまいまして、自宅にはカズが出場している日本代表のほとんどの試合を録画したビデオテープとサッカー雑誌が山のようにあり、クローゼットを占領しているのですが、ビデオテープですのもうなかなか見ることもできないので、妻にいつ捨てるのか?と迫られる日々を過ごしております。

そんなカズのやはり忘れられないエピソードはワールドカップ・フランス大会、予選を突破して初出場を決め、スイスの直前合宿で最終メンバーから外れるというとてもショッキングな出来事です。まさかカズが外されるなんてことは想像もしていなかったものですからショックすぎて会社を休もうと思ったくらいでした。玄関先で涙を流す私を妻がそっと抱きしめてくれたことは今でも覚えております。この時ばかりは今、今治でご活躍の岡田監督をなんてひどい人だと思っておりました。しかし、そんなカズが、帰国会見で語った有名な言葉「日本代表としての誇り、魂みたいなものは向こうに置いてきた」という言葉に痺れて、益々ファンになってしまいました。

カズは現在でも横浜FCで選手として頑張っていますが、この経験がなければとくに辞めていたかもしれないというところまで語っておられます。人生って何がどこでどうなるかっていうのはわからないですね。

そんなカズは、ほかにも多くの名言を残していますが、その中にこういうものがあります。

「先輩方や自分たちが積み重ねてきたものがあって、今がある。今が素晴らしいほど過去の苦勞の価値は高まっていく」

この丸亀ライオンズクラブも今が素晴らしいのは過去の苦勞の元に成り立っているのだと思います。歴史ある丸亀ライオンズクラブに当てはまる名言だと思ってお紹介させていただきました。

ちなみに私の座右の銘はこのカズではなく、天才バカボンのパパの決め台詞「これでいいのだ」です。生きていく上では波乱万丈いろいろな事が起こりますが、最終的に自分の中で「これでいいのだ!」とポジティブに言える気持ちを持つことが大事なのかなと思っております。

ということで、このような私ですが、皆様にご迷惑をおかけしないよう頑張っていきますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



新 会 員 ス ピ ー チ

L 多 田 篤 史



ただいまご紹介に預かりました多田篤史と申します。平成6年に百十四銀行へ入行し銀行員生活も今年で27年目となります。令和3年4月の人事異動で隣町の多度津支店から城西支店に着任しました。そして今年6月には丸亀ライオンズクラブの会員に迎えていただきご縁に恵まれました。伝統ある丸亀ライオンズクラブの例会において、このようなスピーチの場をあたえていただき、大変感謝しております。本日は頂いた貴重な時間で、私の人となりについて少しでも皆様にお伝えすることができればと思っております。どうぞ皆様よろしくお願いいたします。

本日のスピーチを準備するにあたって、生まれてはじめて自分の半生を振り返りました。そして、自分自身のことながら、改めて発見した事がありました。それは私の人生にサッカーというスポーツが深く影響を及ぼしているということです。そこで本日は「日本サッカーと私」というタイトルでお話をさせていただこうと思います。

私は昭和45年11月生まれの51歳です。高松市香川町の出身です。父は香川県警、母は百十四銀行に勤めていました。姉が一人の4人家族です。皆さんもお感じになられたでしょうが絵に描いたような「お堅い」家庭です。

厳格な父、優しい母、天真爛漫な姉に囲まれて子供時代を過ごしました。そんな私は小学校生の頃は甲子園出場を夢見る野球少年でした。しかし、香川第一中学校に入学した際に心機一転新しいスポーツに挑戦してみたいと思いサッカー部に入部しました。当時男の子が選択するスポーツはまず野球でサッカーはマイナースポーツでした。漫画の「キャプテン翼」の気分でサッカーが少し社会的に認知され始めたぐらいのタイミングだったと思います。まったくのサッカー初心者である私は細かいテクニックでは小学校からのサッカー経験者には到底叶いません。なので、とにかくサッカーという競技を深く学ぼうとサッカー雑誌や技術本を読み漁り、たまにしかない日本代表のサッカー中継を録画し擦り切れるほどみていました。そんな努力が実ったのでしょうか。中学3年生の時にはレギュラーになることができました。高校は高松高校に入学しました。入学直後にクラスメートとの学力の差を痛感し、勉強については早々と白旗を上げてしまいました。そんな私が高校時代に打ち込んだのも、やっぱりサッカーでした。学校の勉強はまったくしませんでした。サッカーについては一生懸命勉強して、高校でも何とかレギュラーの座を勝ち取ることができました。そんな生活の中で、私はいつか日本サッカーの熱烈なサポーターになっていきました。当時の日本はサッカー弱小国でしたので、日本にもいつかプロリーグが誕生して、ワールドカップ出場を叶えて欲しいという夢を抱くようになりました。高校卒業後は1年間の浪人生活を経て関西学院大学に進学しました。大学ではサッカーはせず、ごく一般的なキャンパスライフを過ごしていました。そんな時、その後の私の人生に大きな影響を及ぼす人物がテレビのブラウン管を通じて私の前に現れたのです。その人はプロサッカー選手のカズ、三浦和良選手です。カズは15歳の時、単身でブラジルに留学し、様々な困難を乗り越えてブラジルの名門チーム「サントス」とのプロ契約を掴み取った本物のプロ選手でした。中学生の頃からサッカー雑誌を読み漁っていた私はカズが下積み頃から知っており、私の憧れの存在でした。平成2年、私が大学1回生の時にその憧れの人が、日本に帰ってきたのです。そして帰国した際の記者会見で「日本代表をワールドカップへ連れていくために帰ってきた」と宣言しました。若い私はたった3歳年上のカズの堂々としたプロの振る舞いにあっという間に魅了されました。その後日本ではカズに導かれるように一気にプロ化が進み平成5年にはJリーグ開幕を迎えます。日本サッカーがアマチュアからプロへ劇的に変化していく様をリアルタイムに体験して、就職活動を控えた私の心の中に大きな変化が生まれました。それは「俺も本当のプロになる!」という気持ちです。カズの「お金をもらうからプロじゃない。どんな時でも手を抜かず全力で戦うからプロなんだ」という言葉を胸に刻み百十四銀行に入行しました。入行の日から今日に至るまで、自分なりのプロ意識を持って仕事に取り組んできたつもりです。もちろん失敗や挫折は数えきれないくらい経験してきました。そんな時はカズの言葉に何度も励まされ救われてきました。「あきらめる理由を探すんじゃなくあきらめない理由を探せ」とか「失敗して考え悩むこともあるだろうけど立ち止まっちゃいけない。たとえ1センチでもいいから毎日前に進め!」など好きな言葉は数えきれません。私も50歳が過ぎサラリーマン人生の終盤に差し掛かってきているのだと思います。それでも、カズが38歳の時に言った言葉「全盛期?これからだよ!」という気持ちをいつまでも持って、一生懸命努力を続ける自分でありたいと思っております。そしてこれからも丸亀ライオンズクラブの皆様と共に日々成長していきたいと心より願っております。

最後になりますが、そんな私の現在の夢は、地元プロチームであるカマタマーレ讃岐がいつの日かJ1リーグに昇格することです。その夢が叶うまで、どんなに勝てなくてもカマタマーレ讃岐を応援していこうと思っております。

私のスピーチは以上です。こんな私ですが皆様今後ともよろしくお願いいたします。

本日はご清聴ありがとうございました。





土器川河川敷清掃

日時:10月2日(土) 場所:土器川河川敷

担当/環境保全・保健福祉・アラート委員会

メンバー参加25名



第44回 丸亀ライオンズクラブ杯争奪 少年少女バレーボール大会

日時:11月21日(日) 場所:飯山総合運動公園 体育館・土器川体育センター 体育館

担当/青少年・LCIF・YCE・国際関係委員会

メンバー参加 17名
メンバーとの交流試合は中止



●男子の部
 優勝/長炭バレーボールクラブ
 準優勝/四箇城北ジュニアバレーボールクラブ
 第3位/丸亀アンフィニキッズクラブ
 第3位/飯山ジュニアバレーボールクラブ

●女子の部
 優勝/綾歌JVC
 準優勝/丸亀リアンテナクラブ
 第3位/ブルーストームJVJ
 第3位/城坤ジュニアバレーボールスポーツ少年団A

●男女混合の部
 優勝/多度津ジュニアバレーボールクラブ
 準優勝/suns香川Jrバレーボールクラブ
 第3位/ブルーストームJVJ

第39回 丸亀ライオンズクラブ旗争奪 少年軟式野球大会

日時:10月2日(土)~3日(日) 場所:土器川河川敷グラウンド

担当/青少年・LCIF・YCE・国際関係委員会

メンバー参加2日間
延べ41名

優勝/丸亀城南軟式野球スポーツ少年団
 準優勝/丸亀城東少年野球クラブ
 第3位/綾歌郡少年野球クラブ



第2回献血・骨髄バンク登録者活動

日時:11月28日(日) 場所:ハローズ丸亀店

担当/環境保全・保健福祉・アラート委員会

メンバー参加 15名
メンバー献血 3名

献血/受付96名
 400ml献血86名
 骨髄ドナー登録/5名





例会行事



第1551例会

開催日 10月7日 行事名 ゲストスピーチ

演題

全日本学童軟式野球大会について

スピーカー／飯山少年野球クラブ

監督 住友 裕 様

主将 住友 輝人 様

担当／青少年等委員会



第1552例会

開催日 10月21日 行事名 メンバースピーチ

演題

チーム医療とライオンズクラブ

スピーカー／(スピーチ原稿)L下山健次

(代読)L松浦孝仁

担当／MC等委員会



第1553例会

開催日 11月4日 行事名 ゲストスピーチ

演題

さめき青年会議所の青少年育成の取り組み

スピーカー／(公社)さめき青年会議所

副理事長 続木琢也 様

NEXT JAYCEE委員長 須田貴皓 様

担当／青少年等委員会



第1555例会

開催日 12月2日 行事名 メンバースピーチ

演題

丸亀LCの収支予算書の見方

スピーカー／L小川愉美

担当／財務出席委員会



待ちに待った忘年会

アコーディオンとアイリッシュハープの演奏

日時:12月16日(木) 場所:オークラホテル丸亀



演奏者プロフィール **森藤 みちる**

高松第一高校音楽科卒業。広島大学教育学部第四類音楽文化系コース卒業。ウィーン国際マイスタークルゼ修了。クラシック・ジャズピアニストとしてイベント・コンサート・ライブ等演奏活動を行う傍ら、後進の指導にあたる。県内唯一のアイリッシュハープ、アコーディオン奏者としても活動中。fill音楽教室代表。グレースハーブインターナショナル香川特約店・教室講師。日本ピアノ研究会優秀ピアノ指導者認定。アイリッシュハープの楽譜制作・出版にも携わる。



丸亀ライオンズクラブ創立65周年記念特集

温故知新 vol.2

～10周年記念誌を読んで 第1部～

創立65周年記念大会事務局/L下山 健次

■ 創立10周年記念誌より

65周年記念大会スローガン「温故知新」をメンバーの皆様と考える材料提供として丸亀ライオンズクラブ初めての大会記念誌を読みましたので、私なりの感想を披露させていただきます。

記念誌には、10年間の活動のあゆみ、会長挨拶「十周年を迎えて」、会員座談会「ライオンズ いまむかし」、随想(会員の感想文)で構成されており創立からの10年間の会員の熱い情熱と達成感の高揚が感じられる大変良い記念誌となっています。

その中で、会長挨拶を今回、会員座談会を次回と2部構成で現在と変らぬライオンズの普遍の苦悩をご紹介します。「温故知新」丸亀ライオンズクラブの未来設計の一助となれば幸いです。

■ 第11代会長 L高畑健三 会長挨拶「十周年を迎えて」より

時代背景は、高度経済成長初期段階で、世の中が文字通り日進月歩を遂げていた頃で、当クラブも会員数を発足当時54名から98名を擁する日本で最も有力なクラブのひとつとして成長を遂げていました。

高畑会長は、国際協会50周年、日本ライオンズ15周年と時を同じくして当クラブの10周年を迎える年となった事を指摘し、一層のライオンズムの昂揚に邁進するとの決意を表明されています。

そして日本経済が急速な発展をしつつ世界の自由経済に立ち向かうのに一抹の不安を感じるとの前置きの後に、「日本におけるライオンズの膨張も背伸びをした表面的なものでないか、過度の進展に歪を生じてはいないか」との不安と今後のための反省を促しておられます。

さらにスローガンやモットーを唱えたり奉仕活動を計画し実践したりすることは容易だが、真のライオンズムは各メンバーの心の中に培われるものであって「外面的なものだけに存在するものではない」という考えを披露され、「クラブの民主的な運営とライオンズムに於ける精神面での精進を心掛ける必要があると思う」と結論付けられています。



■ 温故知新に思う

会員の皆様、高畑会長のこのメッセージは、現在のクラブの状況にも当てはまるのではないのでしょうか。会員数も10周年当時とほぼ同じです。

ライオンズムは外面的・対外的なものには存在せず、個々の会員の奉仕の精神を更に精進する事だと現在の会員にも教えていただいているように私は感じました。

クラブの体制や運営方針を立ち止まって考える機会が65周年の年であり、式典の開催は単にその一部ではないかとも思いました。

そしてライオンズムに込められた精神とは「ライオンズの誓い」に凝縮されているのではないかと思い、心を新たにしました。

丸亀LC豆知識

①丸亀ライオンズクラブは、1957年(昭和32年)2月23日に結成し、同年10月10日にチャーターナイト(クラブ認証)を受け、全国42番目、四国7番目、香川県2番目に誕生した、伝統と実績のあるクラブです。

②周年記念式典は、3周年までは現在と同じように会場を借りて100名から200名規模で行っていましたが、その後毎年10月10日に近い例会時に例会事業として会員活動表彰等を行うようになりました(チャーターナイト記念式典と称していました)。現在でも創立記念例会 歴代会長・在籍25年以上の会員を称える会として脈々と引き継がれています。



丸亀ライオンズクラブ・カレンダー



実施行事

日付	行事内容	担当委員会	
令和3年 10月 October event	2日(土)～3日(日) 第39回丸亀ライオンズクラブ旗少年軟式野球大会	青少年等委員会	
会会 2日	(土)河川敷清掃活動	環境等委員会	
2日(土)	2022年度第二副地区ガバナー候補者推薦委員会及び推薦投票管理委員会選挙説明会		
7日(木)	第1例会	青少年等委員会	
10日(日)	丸亀ライオンズクラブチャーターナイト		
10日(日)	336-A地区 4R・5R地区ガバナー公式訪問		
10日(日)	第1回釣り同好会		
11日(月)	クラブ支部セミナー		
14日(木)	理事会		
19日(火)	第2回ゴルフ同好会		
21日(木)	第2例会	MC等委員会	
22日(金)	2022年度第二副地区ガバナー候補者推薦投票説明会		
24日(日)	テニス同好会第73回練習日		
令和3年 11月 November event	4日(木)	第1例会	青少年等委員会
9日(火)	丸亀ライオンズクラブ創立65周年記念大会第2回正副部長会		
11日(木)	理事会		
14日(日)	4R・5R献血推進研究会		
18日(木)	第2例会	GMT等委員会	
20日(土)	5R 第2回ガバナー諮問委員会		
21日(日)	第44回丸亀ライオンズクラブ杯少年少女バレーボール大会	青少年等委員会	
21日(日)	テニス同好会第74回練習日		
27日(土)	2022年度第二副地区ガバナー候補者 投票		
28日(日)	第2回献血運動	環境等委員会	
29日(月)	多度津ライオンズクラブ チャリティ・ゴルフコンペ		
令和3年 12月 December event	2日(木)	第1例会	財務出席委員会
4日(土)	第3回ゴルフ同好会(忘年コンペ)		
5日(日)	薬物乱用防止教育認定講師養成講座		
9日(木)	理事会		
15日(水)	「アニマルセラピー(人と動物のふれあい運動)支援」施設訪問	環境等委員会	
16日(木)	第2例会(忘年例会)	計画委員会	
19日(日)	テニス同好会第75回練習日・忘年会		
26日(日)	釣り同好会(忘年会)		



編集後記

この会報誌をご覧の頃は、2022年(令和4年)の新年をお迎えのことと思います。会員の皆様のご多幸を心より祈念いたします。

さて、近々次期役員の名指委員会が開催され、春に向けて指名会・選挙会と慌ただしくなり、今期の役員の皆様も指折り数えて粛々と運営に当たられていることと思いますが、まだまだ任期は半年あります。

65周年大会の準備もいよいよ具体化します。岩井会長以下役員の皆様には粛々ではなくラストスパートで鞭を入れて運営にあたって頂ければと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



ライオンズクラブ国際協会
336-A地区5R-1Z

丸亀ライオンズクラブ発行

事務局 / 〒763-0011 丸亀市富士見町 3-3-50 オークラホテル丸亀内 ☎(0877)22-6356
URL / <http://marugame-lions.jp> E-mail / info@marugame-lions.jp

会 長 岩井 勝英
幹 事 谷澤 友紀
編集発行責任者 下山 健次
(MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員長)

